

反対討論 青木ともこ議員 (12月7日 本会議)

金城ふ頭集約駐車場の建設費が大幅増額

レゴランド開業に合わせて急いだ地盤調査などは推計値だった



12月7日の本会議で、金城ふ頭集約駐車場の建設費増額にかかる補正予算案に対し、青木ともこ議員が反対討論を行いました。

「見切り発車」で、費用が24億円(税別)も増大

反対の理由として、青木議員は「レゴランドとの事業契約を急ぐあまり、『見切り発車』した結果、費用が大幅に増大した」と指摘しました。

数キロ離れた地域の過去の測定値(土壌汚染)や営業中店舗の周辺4箇所のボーリング調査(地盤)で推計

青木議員は、建設費が大幅に増額した理由として、「金城ふ頭集約駐車場は、5000台規模の市営立体駐車場として、レゴランド開業の2017年3月までを工期とし、2013年に建設予定地内で営業中店舗の移転を待たず、土壌汚染と地盤の状態を、店舗より数キロ離れた地域の過去の測定値や、店舗周辺4箇所のボーリング調査をもとに、推定値を見込み建設契約を交した」ことにあることを明らかにしました。

更地での調査は「土壌汚染は全域・地盤の支持層が薄い」

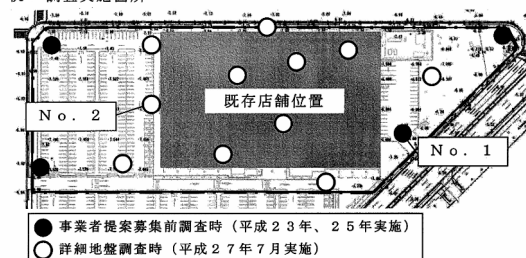
今年7月に店舗移転後の更地の土壌調査で、推定を大幅に超える汚染が全域で判明。地盤も支持層の薄い箇所を確認しました。そのため、新たに汚染土の県外運搬処理作業や支持層の杭打ち補強が必要となっただけで、資材の高騰などで多額の追加費用が生じたのです。

金城ふ頭駐車場の割賦支払額(2017年度から20年割賦)

事項	当初		変更後	
	単年度平均	単年度平均	単年度平均	単年度平均
建設費割賦支払額	192億円	9.6億円	222億円	11.1億円
工事費等	154億円	7.7億円	178億円	8.9億円
消費税及び地方消費税	12億円	0.6億円	14億円	0.7億円
利息相当分	25億円	1.2億円	29億円	1.4億円

(注) 利息は年率1.5%と想定

杭の調査実施箇所



杭の直径、本数を変更

杭の直径(mm)	杭の本数		
	変更前	変更後	増減数
500	—	80	80
600	348	61	△287
700	176	167	△9
800	—	44	44
900	—	40	40
1,000	—	172	172
合計	524	564	40

金城ふ頭駐車場の土壌汚染(事前調査対象と本調査)

事項	調査区画と基準超過区画		汚染物質(mg/L)		
	調査数	超過数	ひ素	フッ素	鉛
土壌溶出量基準値			0.01	0.8	0.01
野跡駅前	12	2	0.036	—	—
南稲永荘	31	14	0.074	0.29	0.003
金城ふ頭駐車場	41	41	0.096	2.1	0.024

項目	金額(千円)	備考
変更前	154億2400万円	建設費の変更(外に消費税及び地方消費税相当額)
変更後	193億0700万円	
差引額	38億8300万円	
工事費	5億4400万円	杭の仕様変更 1億9600万円 インフレスライド 3億4800万円
土壌汚染対策費	19億0800万円	汚染土壌処理費の増加等
消費税及び地方消費税	14億3100万円	税率8%の確定。変更前の消費税及び地方消費税額(12億3392万円)を含む

再来年3月までの工期に合わせる

青木議員は「ひたすらレゴランド開業までを工期とする、時間的制約のなかで、まっとうな調査の手続きにさえ、目をつぶらざるを得なかった、この事業計画そのものの問題点がある」と厳しく批判しました。

建設費は、使用料収入30年でまかなうというが

建設費用は使用料収入でまかない、16年目で単年度収支が黒字に、30年で累積収支が黒字になるといいますが、その保証はありません。青木議員は「レゴランド等の民間事業者も費用負担すべきです。今後も、建設費が増大しないという保証はなく、このままでは際限のない税金投入につながるのではないかと。今回の増額もあまりにもずさんな計画だと言わざるを得ない」として反対し、「この期に、事業の抜本的な見直しを」と強く求めました。

採決の結果、他会派の議員が全部賛成して可決されました。

